

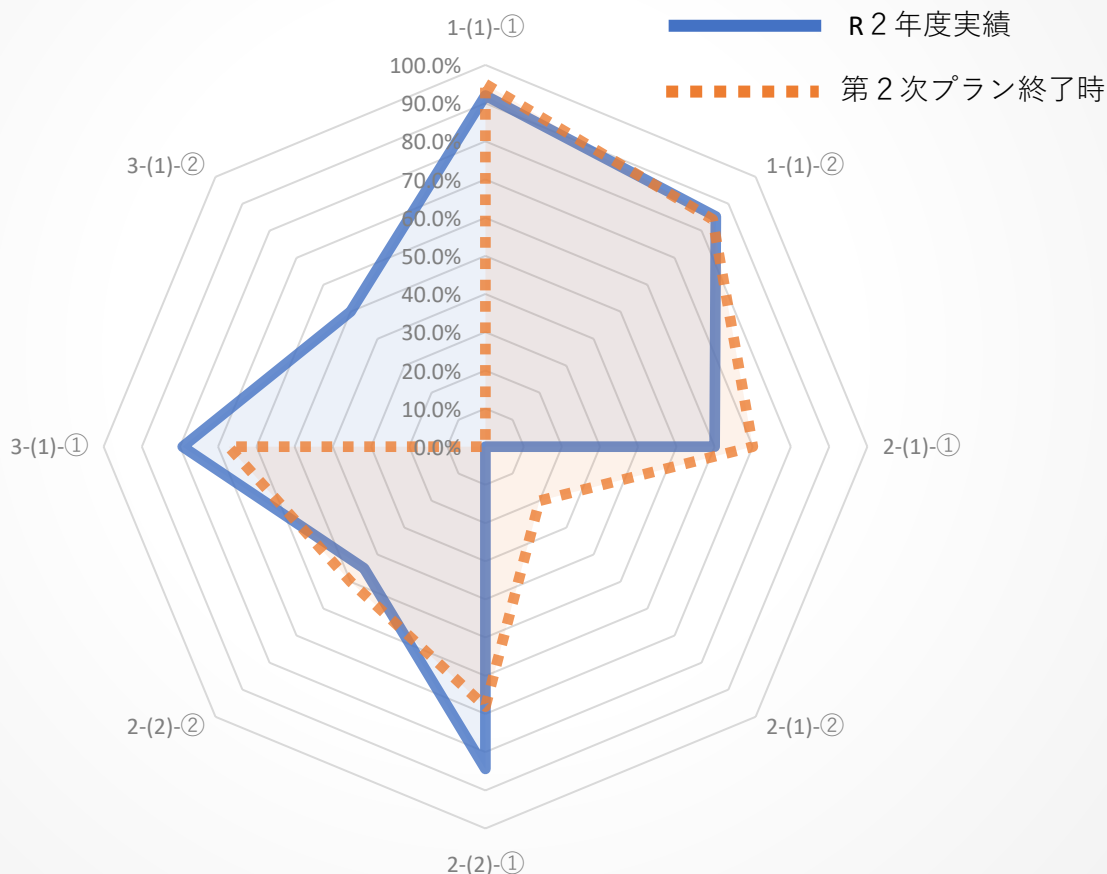
	現状値	実績値	目標値	対最終目標比	該当する取組実績 ※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、（ ）を付しています。	
	第2次プラン 終了時	実績値 (R2年度) A	最終目標 (R5年度) B	(達成率) A/B		
基本目標1 【知】お互いを知り合う・分かり合う機会をつくろう						
1 地域コミュニティづくり						
(1) 気軽に声をかけ合う地域づくり						
自ら進んであいさつをしている児童・生徒の割合	66.5%	64.4%	70.0%	92.0%	市 社協	・地域住民や利用者、登下校時の児童に、積極的に挨拶や声かけを行いました。 ・学校における福祉学習の場において、あいさつ運動や身近な見守り活動の啓発を行いました。
近所の方が相手からあいさつをしてくれると感じている児童・生徒の割合	59.0%	59.7%	70.0%	85.3%	市 社協	・地域住民や利用者、登下校時の児童に、積極的に挨拶や声かけを行いました。 ・あいさつ運動を周知するためのクリアファイルを配布しました。
2 福祉学習の推進						
(1) 学校などにおける多様な福祉学習の推進						
福祉学習を実施している学校数	14校	12校	20校	60.0%	市 社協	・高齢者や障害者との交流活動、車椅子体験やアイマスク体験、高齢者疑似体験等を社協の協力のもと、小中学校で実施しました。 ・学校における福祉学習の支援を9校で行いました。
教職員向けの学習に参加している学校数	4校	0校	20校	0.0%	市 社協	・新型コロナウイルス感染拡大防止の為「福祉教育担当者説明会」不実施 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為「福祉教育担当者説明会」不実施
(2) 地域における福祉学習の推進						
認知症サポーター養成講座の受講者数	6,817人	8,440人	10,000人	84.4%	市 社協	・私立中高等学校から講座の実施要請があり、実施しました。 ・「認知症サポーターステップアップ講座」の開催に協力しました。
生活課題に関する出前講座の実施回数	10回/年	9回/年	20回/年	45.0%	市 社協	・新型コロナウイルス感染症対策のチェックシートを作成し、安全に講座が開催できる仕組みを作りました。 ・該当する取組は、ありません。
3 情報の発信と共有						
(1) 多様な媒体によるわかりやすい情報の発信と共有 【重点目標3】						
はんのうふくしの森プランを知っている人の割合	40.4%	47.6%	60%	79.3%	市 社協	・広報はんのうやはんのうふくしの森プランポータルサイトでふくしの森プランの周知を進めました。 ・LINEやフェイスブックを活用し、ふくしの森プランの情報や市民の情報発信を支援しました。
[新規] 「ふくしの森マップ」の作成	未発行	WEB版のみ発行	発行	一部完了	市 社協	・はんのうふくしの森プランポータルサイトのマップWEB版について、市のホームページとリンクさせ各課で内容を随時更新しました。 ・はんのうふくしの森プランポータルサイトの運営を行いました。（地域の交流拠点や生活支援、移動支援の取組、身近な相談窓口をマップ化した「ふくしの森マップ」、地域活動のスケジュールを掲載した「ふくしの森カレンダー」等を掲載）

現状値 第2次プラン 終了時	実績値 実績値 (R2年度) A	目標値 最終目標 (R5年度) B	対最終目標比 (達成率) A/B	該当する取組実績 ※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、（ ）を付しています。	
基本目標2 【交】暮らしやすい移動・交通の仕組みをつくろう					
1 交流の場づくり					
(1) 地域の居場所などの交流の場づくり 【重点目標1】					
地域の居場所（サロン、子ども食堂、食事会など）の設置数	49か所	51か所	70か所	72.9%	<p>市 ・地域の交流の場や憩いの場、地域団体の活動の場として貸館を行いました。</p> <p>社協 ・はんのうふくしの森みらいカレッジにて、地域の居場所づくりに取り組む活動実践者との交流を通して、地域の居場所づくりの取組の立ち上げを支援しました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大の影響でサロンが中止となり、居場所を失ってしまった方の見守りを目的にサロンボランティアの協力を得て「電話DEお元気大作戦」を実施しました。（参加団体：20団体、実績：1,315件）</p> <p>・NPO法人、企業、社会福祉法人の活動拠点を居場所づくりの活動に提供していただけるよう働きかけ、実現できました。</p> <p>・セブン-イレブンと協働し、移動販売実証実験を実施。副次的に小規模コミュニティが生まれる効果がみられました。（167回、利用人数：2,753人）【再掲】</p>
認知症カフェの参加者数	1,428人/年	689人/年	2,000人/年	34.5%	<p>市 （・相談窓口、講座、講演会等でパンフレットを配布するなど周知を図りました。）</p> <p>社協 （・地域ケア会議等の場で、社会資源のひとつとして認知症カフェを紹介しました。）</p>
(2) 意見を交わせる場づくり					
ふくしの森地区別懇談会の参加者数	477人	71人	1,000人	7.1%	<p>市 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為「ふくしの森地区別懇談会」不実施</p> <p>社協 ・地域における話し合いの場において検討しました。（吾野/38人、名栗地区/33人）また、南高麗地区において、地域福祉推進組織が主催する研修会において、圏域ごとの計画づくりにつながる講演の開催を支援しました。</p>
福祉関係事業者懇談会の開催回数	1回/年	3回/年	2回/年	100.0%	<p>市 ・市内の全ての社会福祉法人による地域における公益的な取組意見交換会、地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会に参加し、情報共有等行いました。</p> <p>社協 （・多職種連携のための「飯能・日高地区ワールドカフェ」の運営支援を行いました。）</p> <p>・地域における公益的な取組の推進（埼玉県社協モデル事業）の一環として、連携による地域公益活動を取り組むネットワーク組織設立に向け、実務者級職員による検討の場である「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会」を3回開催しました。市内9社会福祉法人の理事長等を対象に意見交換会を1回開催し、協議経過と内容を報告しました。</p>
2 地域の移動・交通の充実					
(1) 身近な外出支援の仕組みづくり 【重点目標1】					
助け合いの移送サービス実施団体数	4団体	6団体	6団体	100.0%	<p>市 ・加治地区での住民主体サービス立ち上げの支援に関わり、家事支援と一体として送迎サービスを行うための方法を伝えました。その結果、送迎を含むサービス提供を行う「たすけあい加治」が設立され令和3年4月1日から活動がスタートしました。</p> <p>社協 ・地域福祉推進組織による支え合いの外出の機会づくりを支援しました。（吾野、名栗地区）また、介護保険の「介護予防・日常生活支援総合事業」における訪問型サービスB実施団体が新たに取り組む外出支援の取り組みの立ち上げを支援しました。（精明、加治地区）</p>

現状値 第2次プラン 終了時	実績値 実績値 (R2年度) A	目標値 最終目標 (R5年度) B	対最終目標比 (達成率) A/B	該当する取組実績	
				※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、() を付しています。	
基本目標3 【支】 支え合いの仕組みをつくろう					
1 地域で支え合う人の育成					
(1) ふくしの森サポーターの創設 【重点目標4】					
〔新規〕 ふくしの森サポーター講座の開催回数	0回	1回	20回	5.0%	市 ・10～11月にかけて社協及びはんのうふくしの森プラン推進市民会議が開催したふくしの森みらいカレッジ（ふくしの森リーダー養成研修）の運営に協力しました。 社協 （「はんのうふくしの森プラン推進市民会議」を1回開催し、ふくしの森みらいカレッジについて検討を進めました。）
〔新規〕 ふくしの森サポーターの登録者数	0人	8人	300人	2.7%	市 ・10～11月にかけて社協及びはんのうふくしの森プラン推進市民会議が開催したふくしの森みらいカレッジ（ふくしの森リーダー養成研修）の運営に協力しました。 社協 ・ふくしの森みらいカレッジを開催。参加者 25 人の内、19人が修了、内8人がふくしの森リーダーとして登録しました。
(2) ボランティアの育成					
ボランティアセンターに登録しているボランティア数（個人活動者）	50人	21人	75人	28.0%	市 ・ボランティアセンターの運営に対する具体的な支援は行いませんでした。 社協 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアセンター運営委員会を実施することができずボランティア機能の充実について、検討できませんでした。
同（団体に所属する活動者）	1,106人	1,033人	1,500人	68.9%	市 ・ボランティアセンターの運営に対する具体的な支援は行いませんでした。 社協 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアセンター運営委員会を実施することができずボランティア機能の充実について、検討できませんでした。
同（活動団体）	57団体	44団体	65団体	67.7%	市 ・ボランティアセンターの運営に対する具体的な支援は行いませんでした。 社協 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアセンター運営委員会を実施することができずボランティア機能の充実について、検討できませんでした。
2 支え合いの地域づくり					
(1) 地域福祉推進組織の全圏域での設立					
地域福祉推進組織の設立数	7組織	7組織	13組織	53.8%	市 ・福祉活動の場として貸館を行うなど、運営に必要な支援を行いました。 社協 （「地域福祉推進組織の設立がない地域において、その必要性について情報提供を行いました。」）
(2) 地域福祉推進組織の活動の充実					
地域福祉推進組織交流会の開催回数	1回/年	0回/年	2回/年	0.0%	市 （「地域福祉推進組織交流会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止しました。」） 社協 ・地域福祉推進組織交流会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止しました。
(4) 民生委員児童委員協議会との連携					
民生委員・児童委員活動を知っている人の割合	24.5%	40.8%	40.0%	102.0%	市 （「民児協だよりを年2回発行し、民生委員・児童委員の活動を市民に広く紹介しました。」） 社協 ・該当する取組は、ありません。
(5) 多様な活動の連携					
福祉関係事業者懇談会の開催回数	1回/年	3回/年	2回/年	100.0%	市 ・市内の全ての社会福祉法人による地域における公益的な取組意見交換会、地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会に参加し、情報共有等行いました。 社協 （「多職種連携のための「飯能・日高地区ワールドカフェ」の運営支援を行いました。」） ・地域における公益的な取組の推進の一環として、市内9社会福祉法人の理事長等を対象に情報交換会を1回開催後、「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会」を3回開催しました。
地域における公益的な取組を行っている社会福祉法人数	4法人	9法人	8法人	100.0%	市 ・市内の全ての社会福祉法人による地域における公益的な取組意見交換会、地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会に参加し、情報共有等行いました。 社協 ・地域における公益的な取組意見交換会の実施、「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会設立準備会（仮称）」を開催しました。

	現状値	実績値	目標値	対最終目標比	該当する取組実績 ※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、（ ）を付しています。	
	第2次プラン 終了時	実績値 (R2年度) A	最終目標 (R5年度) B	(達成率) A/B		
基本目標4 【安】安心して暮らせる仕組みをつくらう						
1 相談支援体制の強化						
(1) コミュニティソーシャルワーカーの充実 【重点目標2】 【重点目標4】						
コミュニティソーシャルワーカーの配置人数	6人	8人	13人	61.5%	市 社協	・社協への補助金によりコミュニティソーシャルワーカーの件費を補助しました。 ・市の総合振興計画実施計画に向けて、コミュニティソーシャルワーカー配置計画を作成し、増員に向けた要求を行いました。予算確保には至りませんでした。
ふくしの森ステーションの設置数	7か所	7か所	13か所	53.8%	市 社協	・社協への補助金によりコミュニティソーシャルワーカーの件費を補助しました。 ・支援内容の充実を意図し、既存のふくしの森ステーションへの複数名のコミュニティソーシャルワーカーの配置を検討しました。そのため、ふくしの森ステーションの増設の検討には至りませんでした。
コミュニティソーシャルワーカーを知っている人の割合	37.9%	34.0%	60.0%	56.7%	市 社協	・該当する取組は、ありません。 ・ふくしの森プランを周知するための啓発品の配布を継続しました。 (・ステーションだよりにてコミュニティソーシャルワーカーの周知を図りました。)
(2) ネットワークによる相談支援体制の強化 【重点目標2】						
[新規] 相談支援者ネットワーク会議の開催回数	0回/年	0回/年	2回/年	0.0%	市 社協	(・社会福祉法の改正による市町村の包括的な支援体制構築に向けた新事業について情報収集を行いました。) (・相談支援者連携会議を定期開催しました。(飯能・第二区/4回、原市場7回))
2 権利擁護の推進						
(2) 成年後見制度に関する取組の充実						
市民後見人養成講座(実践編)の修了者数	67人	76人	100人	76.0%	市 社協	・市民後見人フォローアップ講座を书面開催し、希望者を新たに市民後見人候補者名簿に登録しました。 ・成年後見事業について、広報はんのうへの記事を掲載し、権利擁護の理解を促進しました。
[新規] 成年後見制度を知っている人の割合	0.0%	12.9%	20.0%	64.5%	市 社協	(・人権週間に合わせて市役所本庁舎ロビーにてパネル展示を行い、成年後見制度を周知しました。広報はんのうの人権コーナーにて成年後見制度について掲載しました。) ・成年後見事業について、広報はんのうへの記事を掲載し、権利擁護の理解を促進しました。
3 防災・防犯の地域づくり						
(1) 安心して暮らせる地域づくり						
福祉避難所に関する協定の締結数	26件	28件	30件	93.3%	市 社協	・市内障害者支援施設に福祉避難所指定について働きかけを行いました。 ・協定を締結している福祉避難所に対し、受入体制や物資、機材の整備状況の調査を実施しました。 ・該当する取組は、ありません。

基本目標 1 【知】
お互いを知り合う・分かり合う機会をつくろう
(対最終目標比)

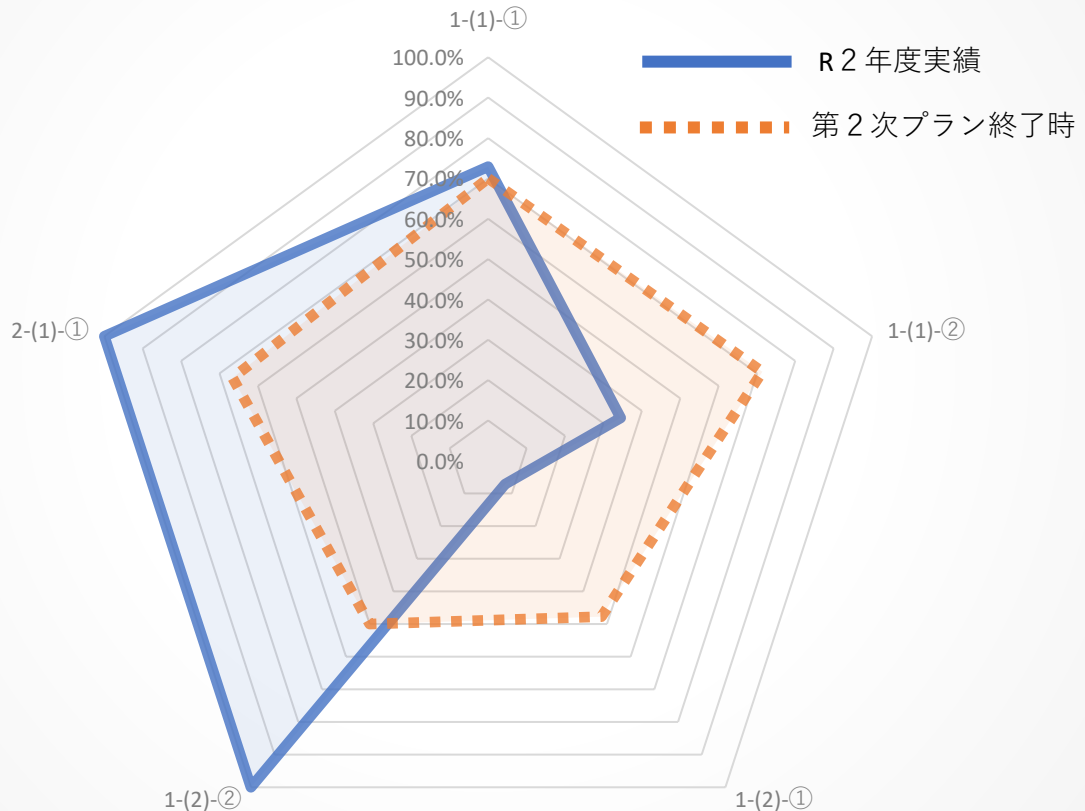


1-(1)-①	自ら進んであいさつをしている児童・生徒の割合
1-(1)-②	近所の人から相手からあいさつをしてくれると感じている児童・生徒の割合
2-(1)-①	福祉学習を実施している学校数
2-(1)-②	教職員向けの学習に参加している学校数
2-(2)-①	認知症サポーター養成講座の受講者数
2-(2)-②	生活課題に関する出前講座の実施回数
3-(1)-①	はんのうふくしの森プランを知っている人の割合
3-(1)-②	〔新規〕 「ふくしの森マップ」の作成 (※)

※3-(1)-②の「一部完了」の実績値は、「WEB版のみ発行」したため、50.0%としています。

※網掛けされている箇所は、重点目標の具体的な施策内容に挙げている項目です。

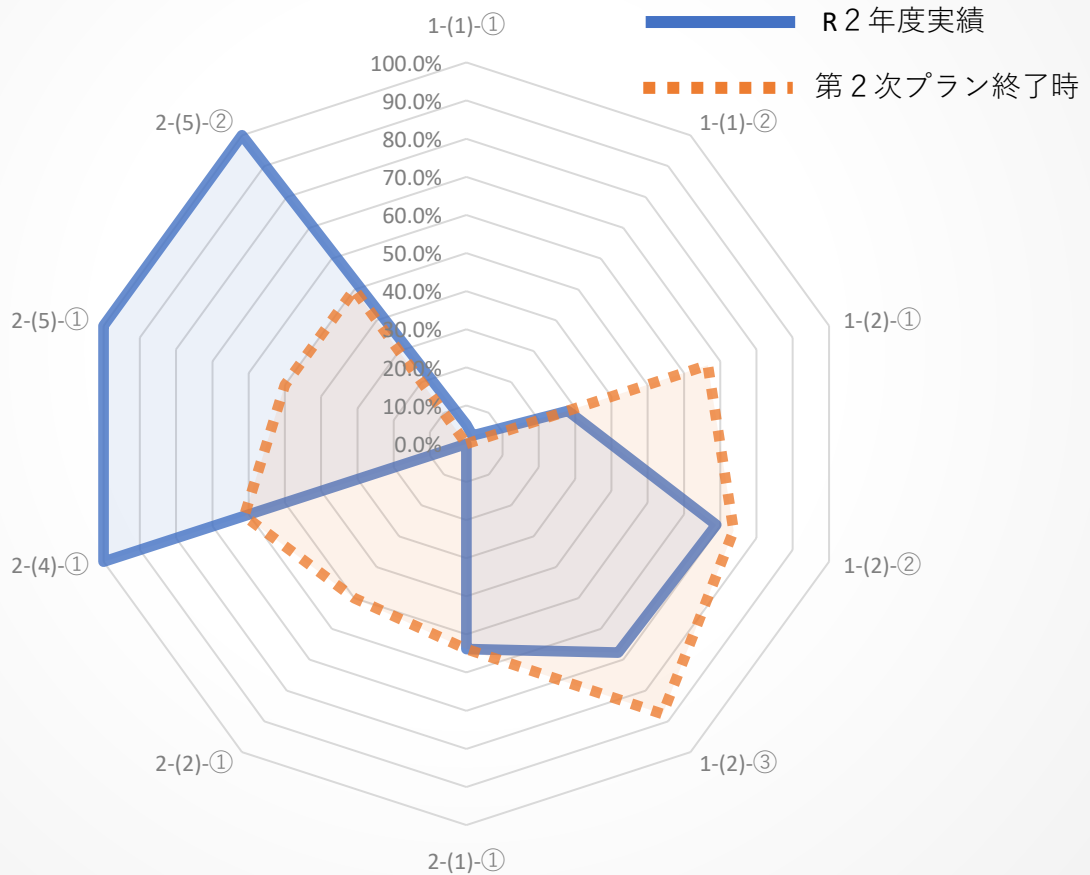
基本目標 2【交】
暮らしやすい移動・交通の仕組みをつくろう
(対最終目標比)



1-(1)-①	地域の居場所（サロン、子ども食堂、食事会など）の設置数
1-(1)-②	認知症カフェの参加者数
1-(2)-①	ふくしの森地区別懇談会の参加者数
1-(2)-②	福祉関係事業者懇談会の開催回数
2-(1)-①	助け合いの移送サービス実施団体数

※網掛けされている箇所は、重点目標の具体的な施策内容に挙げている項目です。

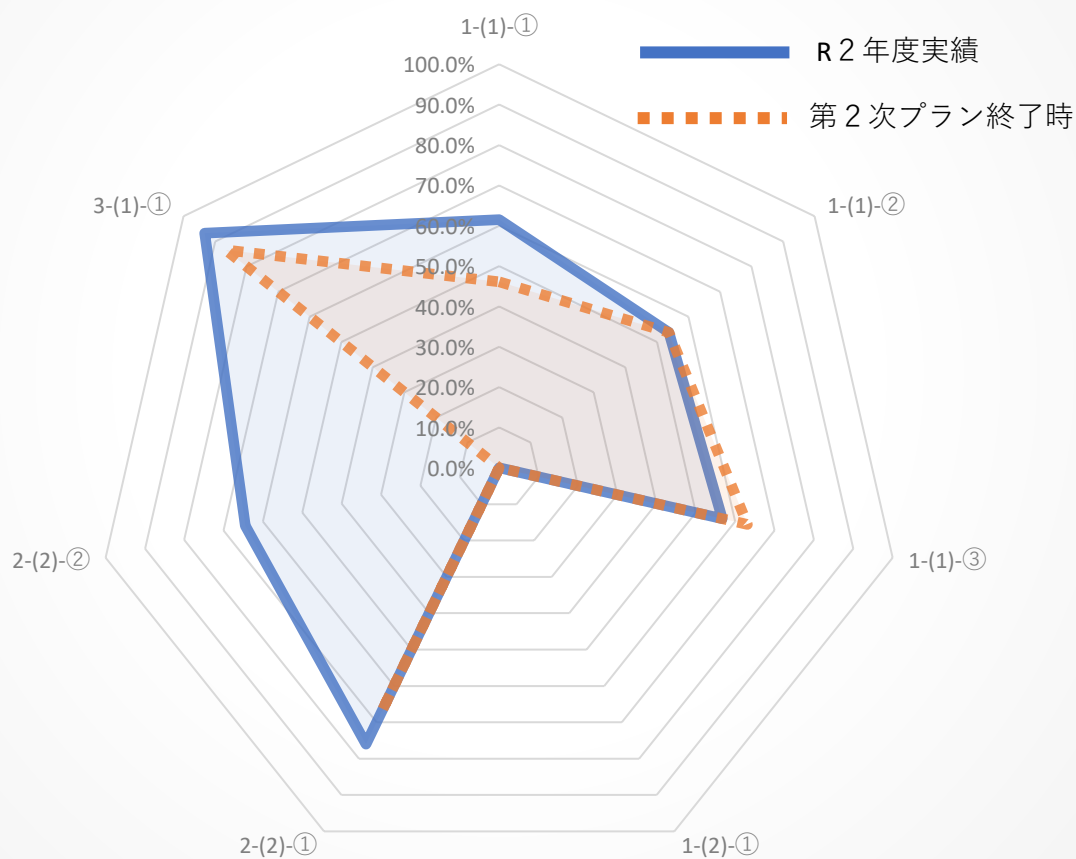
基本目標3【支】
 支え合いの仕組みをつくろう
 (対最終目標比)



1-(1)-①	〔新規〕 ふくしの森サポーター講座の開催回数
1-(1)-②	〔新規〕 ふくしの森サポーターの登録者数
1-(2)-①	ボランティアセンターに登録しているボランティア数（個人活動者）
1-(2)-②	同（団体に所属する活動者）
1-(2)-③	同（活動団体）
2-(1)-①	地域福祉推進組織の設立数
2-(2)-①	地域福祉推進組織交流会の開催回数
2-(4)-①	民生委員・児童委員活動を知っている人の割合
2-(5)-①	福祉関係事業者懇談会の開催回数
2-(5)-②	地域における公益的な取組を行っている社会福祉法人数

※網掛けされている箇所は、重点目標の具体的な施策内容に挙げている項目です。

基本目標4【安】
安心して暮らせる仕組みをつくろう
(対最終目標比)



1-(1)-①	コミュニティソーシャルワーカーの配置人数
1-(1)-②	ふくしの森ステーションの設置数
1-(1)-③	コミュニティソーシャルワーカーを知っている人の割合
1-(2)-①	〔新規〕 相談支援者ネットワーク会議の開催回数
2-(2)-①	市民後見人養成講座（実践編）の修了者数
2-(2)-②	〔新規〕 成年後見制度を知っている人の割合
3-(1)-①	福祉避難所に関する協定の締結数

※網掛けされている箇所は、重点目標の具体的な施策内容に挙げている項目です。